

死刑制度に関する世論調査についての検討会の検討結果

第1 結論

次回世論調査においては、別添「基本的法制度に関する世論調査（案）」の質問・回答選択肢の内容により世論調査を実施することが相当である。

第2 理由

1 前回世論調査における質問・回答選択肢の修正の要否・当否について

基本的に、前回世論調査における質問・回答選択肢を修正する必要はなく、次回世論調査においては、これらに調査方式が個別面接聴取法から郵送法に変更されることに伴う技術的修正をすることとどめるべきである。

〔意見の要旨〕

- ・ 世論調査においては、国民の意識の動向を把握するため同様の調査を継続することが重要であり、質問・回答選択肢は、基本的に修正すべきでない。
- ・ 次回世論調査においては、調査方式が個別面接聴取法から郵送法に変更されるため、質問・回答選択肢の内容を修正すると、仮に回答傾向に変化が生じた場合にその原因を判別することが極めて困難となることから、質問・回答選択肢の内容を基本的に維持し、修正は調査方式の変更に伴う技術的なものにとどめるべきである。
- ・ 賛否を問う質問については、次回世論調査が郵送法で実施されることも踏まえつつ、できる限り回答者の態度を明らかにしてもらえようという回答選択肢を策定するという観点から、従前どおり、回答選択肢に「その他」、「わからない」等の中間的な選択肢を設けるべきではない。
- ・ サブクエスション（前回のSQ a 1 及びSQ b 1）については、前回世論調査の際に「その他」の回答選択肢を選択した回答者からその具体的内容を聴取した結果等を踏まえても、次回世論調査におい

て回答選択肢を修正する必要はない。

2 新たな質問の追加の要否・当否について

新たな質問は追加しない。

〔意見の要旨〕

- ・ 世論調査は、簡潔に実施できることが望ましく、サブクエスションの追加などにより、郵送法で用いる調査票を複雑なものにすることは望ましくない。
- ・ 郵送法による調査においては、回答者が自ら調べた上で回答することも可能であることも踏まえると、死刑制度に関連する情報の認知度を把握するための質問等を加えることは適切でない。

基本的法制度に関する世論調査（案）

あなたと裁判のかかわりについておうかがいします

この下の問1からお答えください

問1. あなたは、今までに、裁判所を見学したり、裁判を傍聴（ぼうちょう）したりしたことがありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

ここからは、死刑制度についておうかがいします

問2. 死刑制度に関して、次のような意見がありますが、あなたは、どちらの意見に賛成ですか。（○は1つ）

1. 死刑は廃止すべきである
2. 死刑もやむを得ない

→1と答えた方は問3および問4へ

2と答えた方は問5および問6へ進んでください

問2で「1. 死刑は廃止すべきである」と答えた方への質問

問3. 「死刑は廃止すべきである」という意見に賛成の理由はどのようなことですか。次の中から、あなたの考えに近いものを選んでください。（○はいくつでも）

1. 人を殺すことは刑罰けいばつであっても人道に反し、野蛮やばんである
2. 国家であっても人を殺すことは許されない
3. 裁判に誤りがあったとき、死刑にしてしまうと取り返しがつかない
4. 凶悪な犯罪を犯した者でも、更生こうせいの可能性がある
5. 死刑を廃止しても、そのために凶悪な犯罪が増加するとは思わない
6. 生かしておいて罪の償つぐないをさせた方がよい
7. その他（具体的に→）

問2で「1. 死刑は廃止すべきである」と答えた方への質問

問4. 死刑を廃止する場合には、すぐに全面的に廃止するのがよいと思いますか、それともだんだんに死刑を減らしていき、いずれ全面的に廃止する方がよいと思いますか。（○は1つ）

1. すぐに、全面的に廃止する
2. だんだん死刑を減らしていき、いずれ全面的に廃止する

→問7に進んでください

問2で「2. 死刑もやむを得ない」と答えた方への質問

問5. 「死刑もやむを得ない」という意見に賛成の理由はどのようなことですか。次の中から、あなたの考えに近いものを選んでください。（○はいくつでも）

1. 凶悪な犯罪は命をもって償つぐなうべきだ

2. 死刑を廃止すれば、被害を受けた人やその家族の気持ちがおさまらない
3. 死刑を廃止すれば、凶悪な犯罪が増える
4. 凶悪な犯罪を犯す人は生かしておくのと、また同じような犯罪を犯す危険がある
5. その他（具体的に→）

問2で「2. 死刑もやむを得ない」と答えた方への質問

問6. 将来も死刑を廃止しない方がよいと思いますか、それとも、状況が変われば、将来的には、死刑を廃止してもよいと思いますか。（○は1つ）

1. 将来も死刑を廃止しない
2. 状況が変われば、将来的には、死刑を廃止してもよい

→問7に進んでください

ここからは全員の方がお答えください

問7. 死刑がなくなった場合、凶悪な犯罪が増えるという意見と増えないという意見がありますが、あなたはどのようにお考えになりますか。（○は1つ）

1. 増える
2. 増えない

ここからは全員の方が【説明】を読んでから下の問8をお答えください

【説明】

現在、死刑の次に重い刑は、一生刑務所に入らなければならない「無期懲役」ですが、む き ちようえき
かりしゃくほう仮釈放される場合があります。これに対して、かりしゃくほう仮釈放される場合がない、いわゆる
しゅうしんけい「終身刑」は、現在の日本にはありません。

問8. もし、仮釈放のない「終身刑」が新たに導入されるならば、死刑を廃止する方がよいと思いますか、それとも、終身刑が導入されても、死刑を廃止しない方がよいと思いますか。（○は1つ）

1. 死刑を廃止する方がよい
2. 死刑を廃止しない方がよい

ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことをおうかがいします

F1. 差し支えなければ、あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

F2. あなたのお年は満でいくつですか。年齢をお書きください。

F3. あなたのお仕事についておうかがいします。あなたは、この中のどれに当たりますか。どれに当てはまるかわからない場合には、「8.」に○をつけ、「その他」の欄に

できるだけ具体的にお書きください。(○は1つ)

1. 役員を含む、正規の職員・従業員
2. 期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員
3. 自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主・自由業
4. 家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者
5. 主婦・主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他→※できるだけ具体的にお書きください。

今後の調査実施の参考とするため、ここからは今回の調査についておうかがいします

問A. 今回の調査の答えやすさはどうでしたか。(○は1つ)

1. 答えやすかった
2. 答えにくかった
3. どちらともいえない

問B. 今回の調査の分量はどうでしたか。(○は1つ)

1. 少ないと感じた
2. 適当と感じた
3. 多いと感じた

問C. 今回の調査への回答に要した時間は、およそどれくらいでしたか。(○は1つ)

1. 15分未満
2. 15～30分程度
3. 30分以上

問D. 今回の調査にご回答いただいたのは、どなた様ですか。(○は1つ)

1. 郵便宛名のご本人様
 2. ご本人様のご意見を代理の方が記入
 3. 代理の方(代理の方のご意見を記入)
- ※代理の方が記入された理由をお教えてください。

ご質問は以上となります